

## 加速する二つの大きな流れ

2014年1月14日

クローバー・アセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 多根幹雄

皆様あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

昨年はお陰様でクローバーの4つのファンドとも大変好調な運用成績を背景に、基準価額は設定来高値の水準となり、さらに弊社の総運用資産も当面の目標でありました50億円を突破することができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今年ですがなんとといってもアメリカが本格的に回復してきたことが大きいですね。テーパーリング、つまりアメリカのFRBが金融緩和の縮小をいつ始めるかで右往左往した昨年中旬とは違い、年末に向けて雇用を中心とした景気指標が改善を示し、それに伴って毎月購入する債券の量を850億ドルから750億ドルに少し縮小するといった、慎重かつ明確にテーパーリングを行う方向性がはっきりしたことが重要です。ちなみに注目されていた12月の米雇用統計は、悪天候の影響もあり非農業部門の雇用者増が7万4000人と、市場予想の20万人弱を大きく下回る結果となる一方、失業率は労働参加率の低下もあり6.7%と2008年10月以来5年2ヶ月ぶりの水準まで改善しました。

今後はFRBの議長が交代するという不安要素もありますが、新議長に就任するイエレン氏も日本の黒田日銀総裁と同じ「先行逃げ切り」タイプなので、おそらく就任当初から全力で取り組み、雇用改善にぬかりはないでしょう。また、アメリカ人は景気に敏感に反応するので、好調になってくると加速する傾向があることを考慮すると今後の改善がますます期待できそうです。

ともあれアメリカの本格回復とテーパーリングの始まりは、昨年から少しずつその傾向が出ていた二つの大きなお金の流れを加速させることになるでしょう。それは『新興国から先進国へ』と『債券から株式へ』の二つの流れです。まだまだ始まったばかりとも言えるこの流れは、これから本格的な流れになると思われれます。この流れが本格化すると新興国株や債券を売り渋っていた世界の多くの投資家は穏やかでいられなくなるでしょう。年初の調整局面は再投資のチャンスです。しっかり先回りして待っているクローバーの4つのファンド達にとっては、やがて絶好の成果をもたらしてくれることでしょう。

さて昨年は体制の立て直しと、運用の強化に始終したクローバーですが、今年は皆様とのコミュニケーション、特に『本当に豊かなお金の活かし方』について皆様と考えていきたいと思ひます。まずは東京の銀座と大阪の心斎橋に新たなセミナー拠点を設け、対話の場をご提供できればと準備を進めています。これからも皆様のご期待に少しでもお応えできるようスタッフ一丸となって頑張ってお参りますので、よろしくご指導のほどお願ひ申し上げます。

## ファンド概況

基準価額	11,000円	純資産総額	3,079百万円
設定日	2013年4月15日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

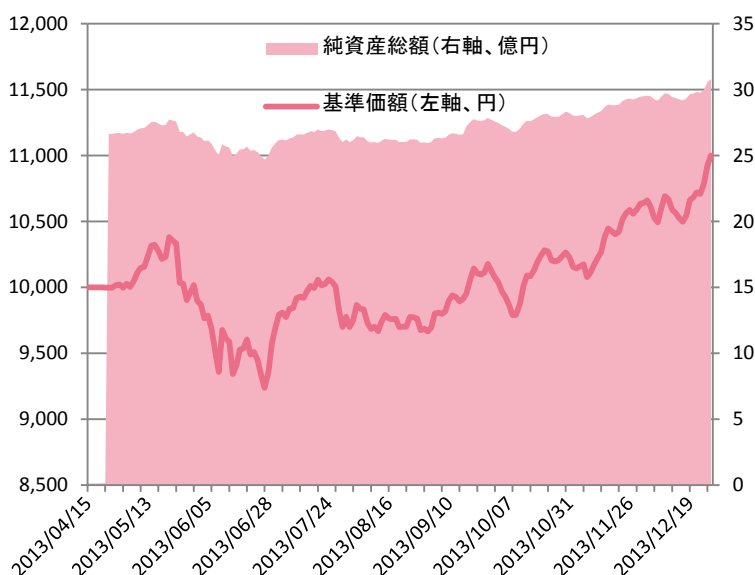
## 期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
3.45	8.65	17.62	-	-	10.00

## 分配金(円)

1期 ('14/2/25)	2期	3期	累計
-	-	-	-

## 基準価額と純資産総額の推移



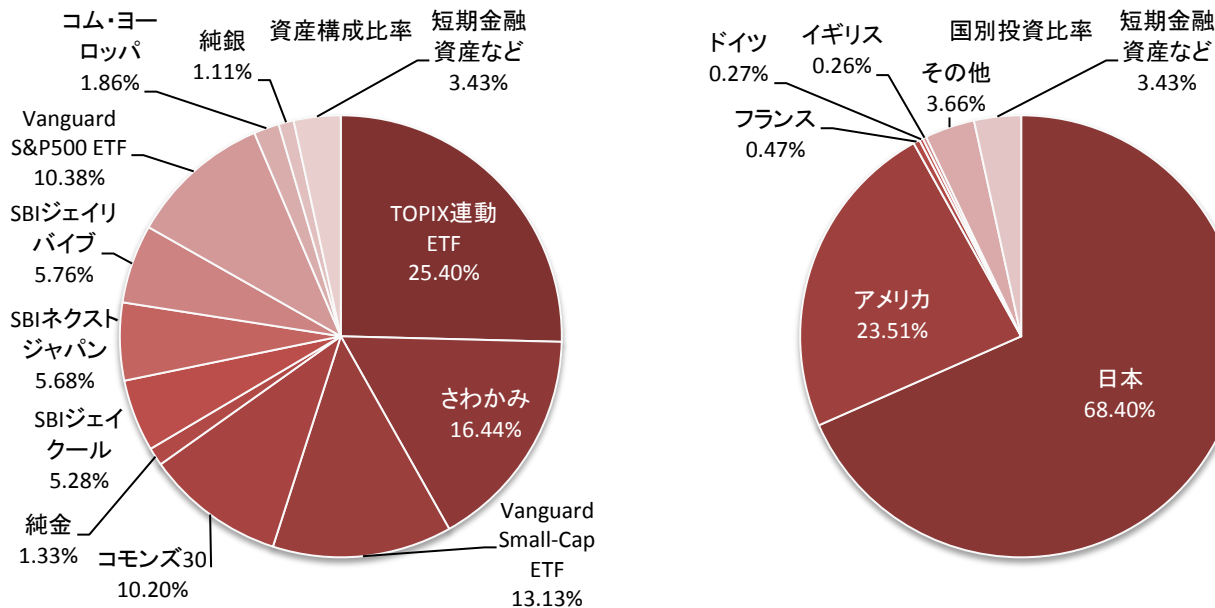
## 運用コメント

12月は、米国の好調なマクロ指標を受け底堅い展開で始まり、米国の景気回復基調が鮮明になってきました。それでも、前半は、緩和政策の縮小が開始されるとの懸念で、売りに押される場面もあり、日経平均株価も一進一退の推移が続きました。18日のFOMCでは金融緩和政策の縮小が発表されましたが、予想より縮小規模が小さく、またバーナンキFRB議長が今後の縮小には慎重姿勢であることを示したことで、むしろマーケットの強気姿勢を一段と高める結果となりました。

NYダウは史上最高値を更新し、ドル/円レートが約5年ぶりの水準まで上昇する中、日経平均株価も大幅高で反応しました。その後は、優遇税制終了を意識した個人の利益確定売りに押される場面もありましたが、日経平均株価は24日に約6年ぶりに16,000円台を回復しました。

コドモファンドも、すでに可能な限り買い入れをしておりましたので、SBI中小型割安成長株ファンド、同中小型成長株ファンド、バンガード S&P 500 ETF などが大きく貢献し、12月30日の基準価額は、11,000円の設定来高値となりました。また、月末にかけてまとまった新たなご入金をいただきましたのでコドモファンドの純資産総額は、30億円を突破しました。この先も、まだまだ、日本株を中心とする上昇相場を予想しており、積極的に買い入れてゆくつもりですので、追加のご入金をよろしくお願いいたします。

## ポートフォリオの状況



## コドモファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率 (ETFは除く)

(組入れ銘柄数:336銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.896%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.781%	さわかみ
3	本田技研工業	二輪・四輪・汎用機を製造する世界的メーカー	0.541%	コモンズ30
4	カカクコム	電気製品等の価格比較サイト「価格.com」を運営	0.490%	コモンズ30
5	デンソー	トヨタグループに属する自動車部品メーカー	0.477%	さわかみ
6	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.452%	さわかみ
7	楽天	「楽天市場」等インターネット総合サービスを展開	0.452%	コモンズ30
8	丸紅	芙蓉グループの総合商社。穀物取扱高首位	0.443%	コモンズ30
9	三菱商事	三菱グループ中核の総合商社	0.441%	コモンズ30
10	久光製薬	鎮痛消炎貼付剤を中心とした医薬品の製造・販売	0.439%	コモンズ30

## ファンドの特色

### ①「長期投資」

世界経済は大きなサイクルでダイナミックに変化しており、それに伴って、株式や債券、商品、不動産等の資産価格も変動しています。短期的な動きには追従せずに、長期的な視点で世界を俯瞰した運用を行います。

### ②「分散投資」

政治・経済の様々なリスクに対応するために、国や地域、資産そして時間を分散させます。分散投資をより効果的に行うために、国内外の複数のファンドに投資します。

### ③「厳選したファンド」

当ファンドの目的や運用方針を共有できる運用会社を厳選し、その会社が運用するファンドに投資します。また組入れにあたっては、国内外のETF(上場投資信託証券及び上場投資証券)に投資する場合があります。

## ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。**

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

## ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.05%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.9±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

## 業務管理部からのお知らせ

### 【「平成25年分特定口座年間取引報告書」の発送について】

「平成25年分特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設したお客様へ販売会社が作成・交付するものです。なお今回は、年間一度もご換金（解約）されなかったお客様について交付を省略させていただいております。交付ご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

本報告書は、確定申告される場合に必要書類となりますので、大切に保管してください。

### 【「取引残高報告書」の発送について】

「取引残高報告書」はお預かり残高とお取引の明細を四半期毎に作成・交付するものです。今回（2013年10月～12月期）は、期間中にお取引（売買等）があったお客様、および取引がなくても残高をお持ちで、最後の取引から1年が経過しているお客様に交付しております。対象となるお客様のうち、残高がある方は、12月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

### 【数値データの訂正について】

2013年11月29日基準（2013年12月13日発行）のコドモファンドの月次レポートの数値データにおきまして、一部誤りがありました。

お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

ポートフォリオの状況「資産構成比率」	誤	正
Vanguard S&P 500 ETF	13.86%	10.38%
短期金融資産など	3.83%	7.31%

### 【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年2月	受付終了	1月23日（木）	2月5日（水）	2月18日（火）
平成26年3月	2月3日（月）	2月20日（木）	3月5日（水）	3月17日（月）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）

TEL:03-3222-1220 / E-mail: [gyoumu@clover-am.co.jp](mailto:gyoumu@clover-am.co.jp)

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

# ファンドご購入方法のご案内

クローバー・アセットマネジメント株式会社

このご案内は2013年4月3日以前に当社に口座開設されたお客様向けのものです。

今までお取引のないファンドを購入する場合→ご注文(購入連絡)が必要です

1

## お振込

○既にお取引しているファンドが1つの場合  
→今までと同じ口座にお振込ください。

○既にお取引しているファンドが2つ以上の場合  
→今までと同じ口座のいずれかひとつにお振込ください。

2

## ご注文(購入連絡)

○購入ファンド名と購入金額をお知らせください。

【お電話】03-3222-1220

または

【HP】<http://clover-am.co.jp> 「ファンドのご注文(購入)」をクリック

3

## 受付完了

！申込当日の15時までに「お振込」・「ご注文(購入連絡)」をお願いします。

！「ご注文(購入連絡)」がない場合は、全額、お振込先口座のファンドの購入となります。

！ご注文(購入連絡)内容の変更・取消しは、申込当日の15時までとなります。  
※ご注文内容の変更・取消しは、お電話でのみ承ります。

4

## 購入(約定)

○受付完了日の翌々営業日の基準価額での購入(約定)となります。

○取引明細を記載した「取引報告書」を送付いたします。

既にお取引している1つのファンドを購入する場合

今までと同じ方法(購入代金の振込後、ご注文なし)でお取引いただけます。

複数のファンドをまとめて購入することも可能です

複数のファンドを同時に購入する場合は、お持ちの口座のいずれか1つにお振込ください。※振込手数料が1回分で済みます。

お振込後、ご注文(購入連絡)を必ずお願いいたします。

ファンドのご解約(換金)はお電話(03-3222-1220)でのみ承っております